

(株)船井総合研究所
第三経営支援部 チーフ
チームリーダー 味園 健治様

拝啓 北アルプスの山々はまだ白い綿帽子をかぶっていますが、麓では新緑がきらきらと輝いています。味園さんにおきましてはお元気でお過ごしですか。

本日メールをさせていただきました。そこでいろいろとお話ができればと思っておいたのですが、本文をみると長文になってしまいまして、それは失礼だなと思いつ紙にすることに決めました。メールの文章の続きですので気晴らし程度に読んでいただければ幸いです。

私がセミナーへ参加した理由ですが、実は上司より「セミナーに応募したから行って来い。自分のレベルを知る良い機会になるぞ。」とお達しが下ったからでした。私も「自分の作るチラシはどの程度のレベルなのか？専門の人にたくさん意見やアドバイスをもらいたい。だったら行ってやるぜ！」という感じで参加させてもらいました。

私はマイナス思考で少々天邪鬼なところがあり、周囲から「良いチラシだね」等のお褒めの言葉をいただいても自分が気に入らない、腑に落ちない部分があるだけでそれを認めよう、素直に受け入れようとしなないところがあります。上司はそれを見越して「小坂のやっていることは知らない人から見るとどの様に受け入れられるのか自分で確かめて来い、自信をつけて帰ってくるぞ」という具合だったようです。

あの日は本当に緊張してしまっていて・・・会場入りするとほとんどの方が社長や歳上の方はばかり。正直「場違いなところへ来たかな？」と思いました。しかし「頑張らなきゃ！」と自分を奮い起こしセミナーが始まったのです。そうしたらなんと一発目から弊社チラシへのアドバイスじゃないですか。もう舞い上がってしまい変なことをしゃべっていたのではないかと・・・。実際はアドバイスと共に「良くてきたチラシである」との言葉に嬉しくて素直に笑顔でいられたように思います。

その後はセミナーへ参加している皆さんのいろいろな考え方や前向きな姿勢を知ることができ、また講師をしてくださる味園さん、小野さんからのアドバイスをいただき、これからのチラシ製作への意欲もさらに上がりました。皆さん一生懸命ですよ。セミナーへ参加して本当に良かったと思っています。

また、レポートの方にも弊社チラシを取り上げていただき恥ずかしい限りですが大変嬉しいです。そして、
の 社長より是非参考にチラシを送付してもらえないか、との問い合わせをいただき、いろいろな情報交換もさせていただきました。B2 チラシ等を

郵送させていただいたのですが、このように興味を持っていただけることも嬉しいことで、すし、このような場所へ参加させてくれた会社に本当に感謝しています。

メールにも書きましたが、前回のセミナーの後は、カタログ兼春の新商品チラシの製作でかなりドタバタと休日返上で取り組んでいました。毎回挫折感に苛まれ、自分のスキル・センスの無さにボロボロの状態になります。製作中はまだ良いのですが、色校があがり印刷に入る頃が一番駄目です。お客様の反応は？もっと違う形があったのでは？いろいろなことが頭の中を駆け巡ってしまうのです。でも、こういう状況に入れる自分があるから、もっといいものを作りたいという気持ちが湧き上がるんですね。きっと皆さんもこういう気持ちや状態になるんでしょうね。

私は全部を作っているわけではなく全体の校正（枠組み・文章・画像・コピー等）をあげ、それを製作会社に依頼し校正してもらっています。その方は女性で私の母くらいの年齢です。6年間その方に専門についてもらっているのですが、とても良い関係で仕事をさせてもらっています。色のバランスや建築の専門的な部分の表現の仕方などは、やはり歳の差や経験の違いからお互い譲れないところもあるのですが、この感覚のズレが良いチラシを作っている要因の1つでもあると思っています。

長々とまとまらない文章ですいません。

次回のセミナーは5月25日ですね。今回のチラシについてアドバイスいただけることや皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

敬具